

研究領域「AI活用で挑む学問の革新と創成」事後評価（課題評価）結果

1. 研究領域の概要

AI（人工知能）をはじめとする情報科学技術の急速な発展と普及により、様々な研究分野で新たな手法構築や格段の性能向上、対象範囲拡大等が進み、さらには革新的な課題設定や枠組み、新たな学問領域創成の可能性も見えつつあります。

このような、あらゆる学問の革新・創成の機会を活かし、進歩を先導し、将来のイノベーション創出につなげていくためには、各々の学問分野の極めて優秀で先進的な頭脳が柔軟な発想で、AI等の情報科学技術の活用やそれらとの学融合によって新たに拓ける世界を予見し、描き、開拓していくことが不可欠です。

本研究領域では、理工系や人文社会系を含むあらゆる学問分野に最先端のAI等の情報科学技術を取り込むことで格段に強化・発展させることや、AI等の情報科学技術との融合による学問分野の革新や新たな学問領域の創成、新しい価値の創造などを目指す若手研究者による挑戦的な研究構想を求めます。

研究推進においては、人材育成の観点を重視し異分野の若手研究者同士が交流し相互に触発する場を設けることで、未来に貢献する先端研究を推進する研究人材の育成や、将来の連携につながる研究者の人的ネットワークの構築をはかります。

なお、本研究領域は文部科学省の人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクト（AIPプロジェクト）を構成する「AIPネットワークラボ」の一環として運営していきます。

2. 事後評価の概要

2-1. 評価の目的、方法、評価項目及び基準

「戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発及び先端的低炭素化開発を除く。)の実施に関する規則」における「第4章 事業の評価」の規定内容に沿って実施した。

2-2. 評価対象個人研究者及び研究課題

2020年度採択研究課題

カラーヌワット タリン（情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設 特任助教）

資料調査のためのオンデバイスくずし字認識

2-3. 事後評価の実施時期

2021年8月4日（水）事後評価会開催

2-4. 評価者

研究総括

國吉 康夫 東京大学大学院情報理工学系研究科 教授

領域アドバイザー

江間 有沙 東京大学未来ビジョン研究センター 准教授

大林 茂 東北大学流体科学研究所 教授

尾形 哲也 早稲田大学理工学術院 教授

上東 貴志 神戸大学計算社会科学研究所 センター長・教授

寺 瀧 立太	(株) 豊田中央研究所東京キャンパス統括室 室長
中小路 久美代	公立はこだて未来大学情報アーキテクチャ学科 教授
永野 惇	龍谷大学農学部 准教授
羽藤 英二	東京大学大学院工学系研究科 教授
馬場 雪乃	筑波大学システム情報系 准教授
樋口 知之	中央大学 AI・データサイエンスセンター 所長/理工学部ビジネスデータサイエンス学科 教授
福田 信二	東京農工大学大学院農学研究院 准教授
松原 仁	東京大学大学院情報理工学系研究科 教授
宮野 悟	東京医科歯科大学M&Dデータ科学センター 特任教授
外部評価者	
該当なし	